

## 第47回ながのアビリンピック 製品パッキング 競技説明

### 1. 競技課題

- 競技課題 1 化粧箱の組み立てと小箱等の組み入れ（20セット上限）  
競技課題 2 梱包緩衝材の組み立て（50個上限）

### 2. 競技内容及び実施手順

製品パッキング競技は、お客様に良い製品(商品)をお届けするために品質(正確さ・できばえ)と速さ(数量)を競う競技です。

- (1) 競技課題ごとに競技の説明を行い、練習してから競技します。
- (2) 各競技は、詳細説明図のとおりです。
- (3) 出来あがった箱は、縦横交互に積み重ねて置いてください。

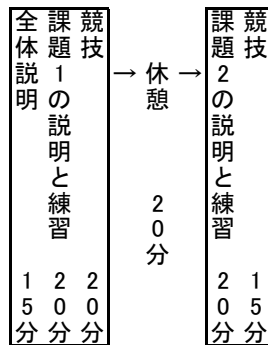
数えは不要です(縦横交互が困難な方はそのまま置いてください)

- (4) 競技終了の5分前と1分前に残りの時間をお知らせします。

### 3. 実施時間

全体説明 15分、 各競技課題の説明と練習 20分、  
競技課題1 20分、 競技課題2 15分、  
競技間の休憩(20分) 全体で約2時間の予定です。

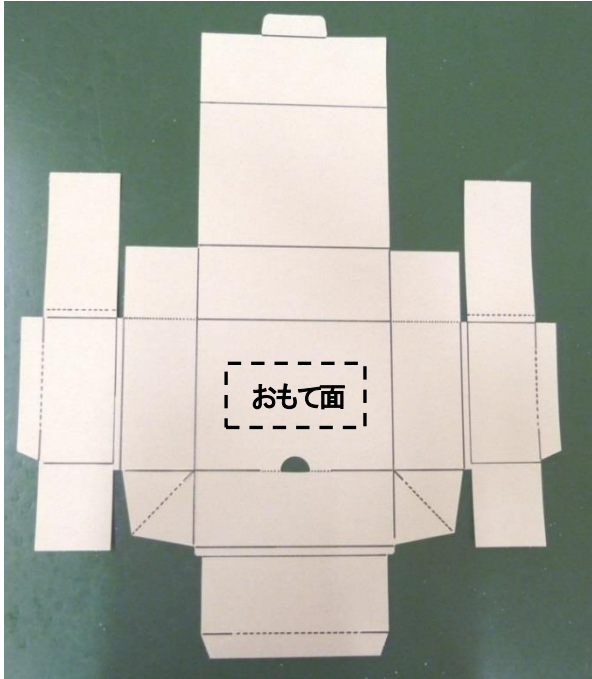
実施時間(図)



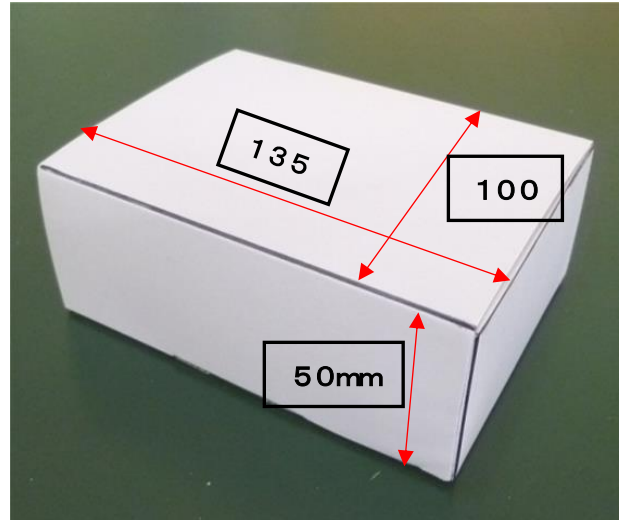


競技課題 1 化粧箱の組み立て  
( 135mm × 100mm × 高さ 50mm )

てん かい ず  
展 開 図



かん せい ず  
完 成 図



はんえん め  
半円を抜く

※折り目を付けるときの注意

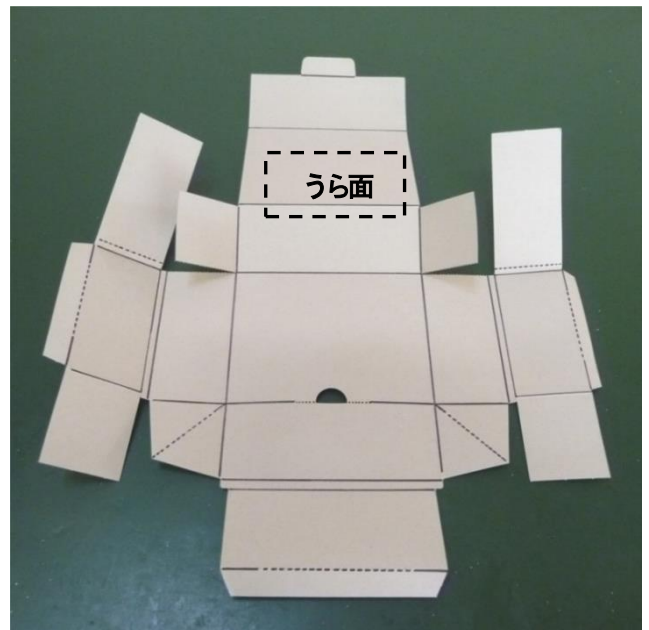
せいひん うら おもて ちゅうい  
製品の裏と表に注意する。

あらかじめ折り目を付ける。

みぎ しゃしん てんかいず めん  
右の写真は展開図のうら面

やま お たにお ちゅうい  
山折りと谷折りに注意する。

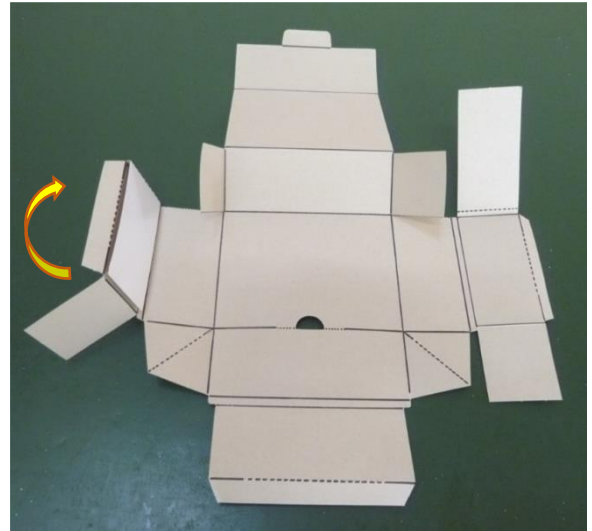
お め っ  
折り目を付ける



1. <sup>さゆうたいしょう</sup>左右対象となっているので、どちらから

<sup>お</sup>折ってもよいが、<sup>しゃしん</sup>写真の<sup>せつめい</sup>説明は<sup>む</sup>向かって

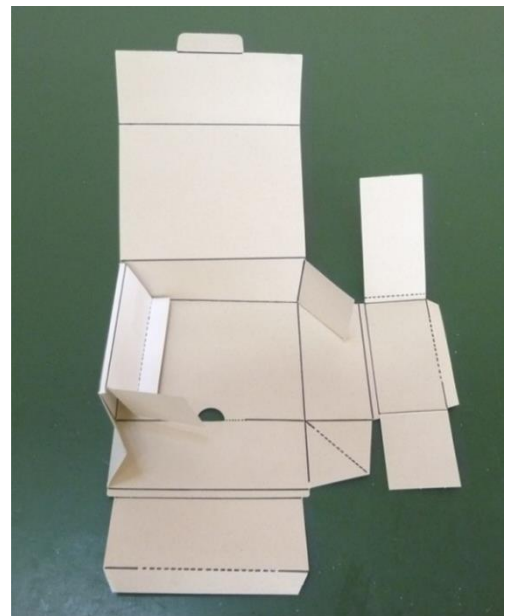
<sup>ひだりがわ</sup>左側から<sup>お</sup>折っている。



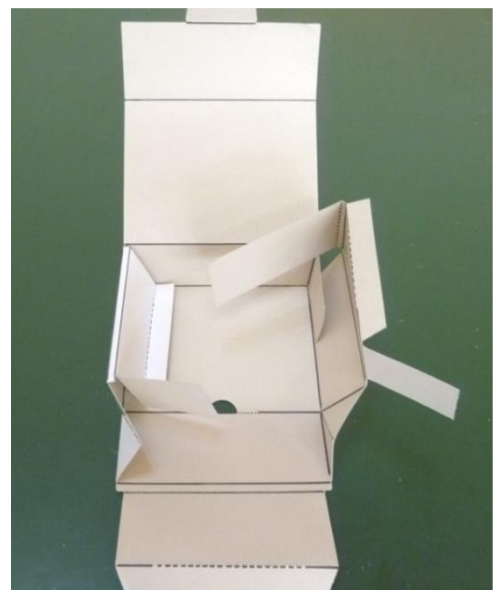
2. <sup>はこ</sup>箱の<sup>へり</sup>縁には<sup>あつ</sup>厚みを<sup>つく</sup>作るので<sup>ちゅうい</sup>注意する。

<sup>ひだりがわ</sup>左側を<sup>お</sup>折り込んだら<sup>こ</sup>反対側も<sup>ほんたいがわ</sup>同じように<sup>おな</sup>

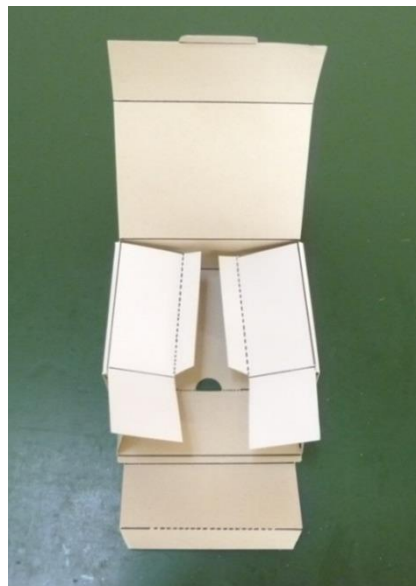
<sup>つく</sup>作る。



3. <sup>へり</sup>縁の<sup>あつ</sup>厚みの中に<sup>なか</sup>折り込む<sup>お</sup>こ



4. <sup>さ</sup>ゆ<sup>う</sup> <sup>へ</sup>り <sup>お</sup> <sup>こ</sup> <sup>じ</sup>ょう<sup>たい</sup>  
左右の縁が折り込まれた状態



5. <sup>あ</sup>つ <sup>さ</sup>ゆ<sup>う</sup> <sup>へ</sup>り <sup>ぶ</sup>ぶ<sup>ん</sup> <sup>お</sup> <sup>こ</sup>  
厚みのある左右の縁の部分の折り込みを  
<sup>お</sup> <sup>こ</sup> <sup>そ</sup>こ <sup>お</sup> <sup>つ</sup> <sup>じ</sup>ょう<sup>たい</sup>  
折り込んで底に押し付けた状態



6. <sup>て</sup>ま<sup>え</sup> <sup>へ</sup>り <sup>ぶ</sup>ぶ<sup>ん</sup> <sup>あ</sup>つ <sup>つ</sup> <sup>は</sup>こ  
手前の縁の部分に厚みを付けて箱の  
<sup>な</sup>か <sup>お</sup> <sup>こ</sup>  
中に折り込む。



7. <sup>うちがわ お こ ぶぶん こてい</sup>内側に折り込んだ部分が固定されるように、

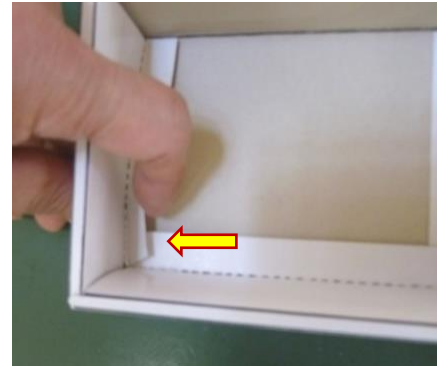
<sup>さゆう そこ ぶぶん てまえ そこ お かえ</sup>左右の底の部分に手前の底の折り返した

<sup>ぶぶん さ こ</sup>部分を差し込む。

<sup>か き</sup>下記 (1) から (3) の手順で差し込み固定する。



(1) <sup>さゆう そこ お かえ ぶぶん ゆび も あ</sup>左右の底の折り返し部分を指で持ち上げる。



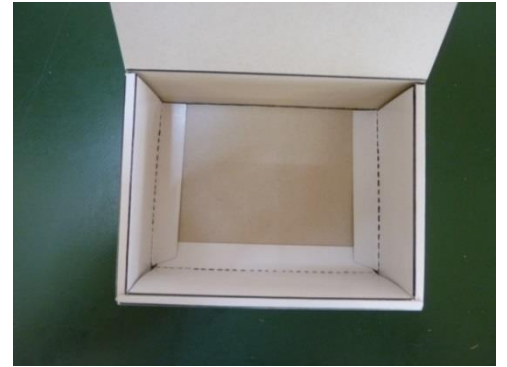
(2) <sup>も あ ぶぶん てまえがわ お かえ ぶぶん</sup>持ち上げた部分に手前側の折り返し部分を  
<sup>さ こ</sup>差し込む。



(3) <sup>さゆう そこ ぶぶん てまえ お かえ ぶぶん</sup>左右の底の部分を手前の折り返し部分に  
<sup>さ こ かんせい</sup>差し込んで完成。

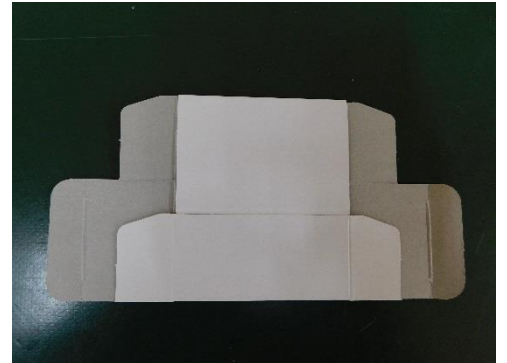


8. 上記7の部分が固定された状態。



9. 小箱の組み立て前の状態。

80 mm × 53 mm × 高さ40 mm



10. 小箱（2箱）の組み立て、商品を入れます。

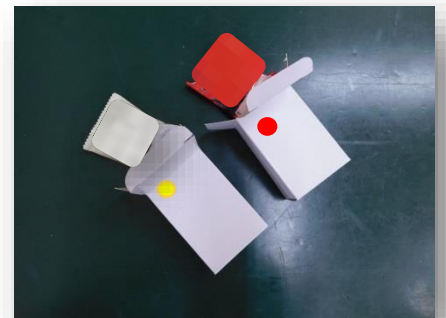
1箱に赤色シールを、もう1箱に黄色シールを  
左上に貼ります。（シールの大きさは8mm）

赤色シールの小箱に赤袋の商品を1個入れます。

黄色シールの小箱に白袋の商品を1個入れます。

商品は、上下・表裏があります。

写真のとおり小箱の差し込むつめ部分を下に  
したとき、商品が表面で入ります。シールが左上の  
とき商品の名前が上から読める向きです。



赤色シール箱と黄色シール箱にそれぞれの商品を  
をセットします。

差し込むつめ部分入れます。

右写真の位置で、

商品が出ないようにシールで止めます。

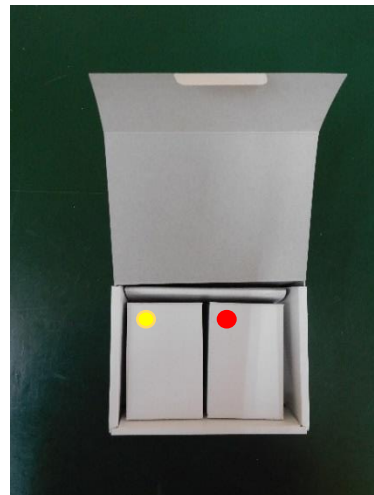
赤色シール箱には、赤色シールを上のみ貼ります。

黄色シール箱には、黄色シールを上のみ貼ります。

（シールの大きさは15mm）



- 1 1. 上記<sup>じょうき</sup>10で組み立てた<sup>く た</sup>2箱を化粧箱<sup>はこ けしょうばこ</sup>に  
セットします。小箱の向きは、  
差し込む<sup>さ こ</sup>つめ部分<sup>ぶぶん</sup>が下になります。  
小箱の中身の商品は、右写真の位置で  
商品名が上から読める向きです。  
2つの小箱<sup>こばこ</sup>の上段<sup>じょうだん</sup>すきまに  
たて75mm×よこ118mmの  
厚紙<sup>あつがみ</sup>を2つに折り入れ込みます。



- 1 2. 化粧箱<sup>けしょうばこ</sup>のふたの差し込み<sup>さ こ</sup>を入れた<sup>い</sup>状態<sup>じょうたい</sup>。



- 1 3. ふたの差し込み<sup>さ こ</sup>を下<sup>した</sup>にして完成<sup>かんせい</sup>。

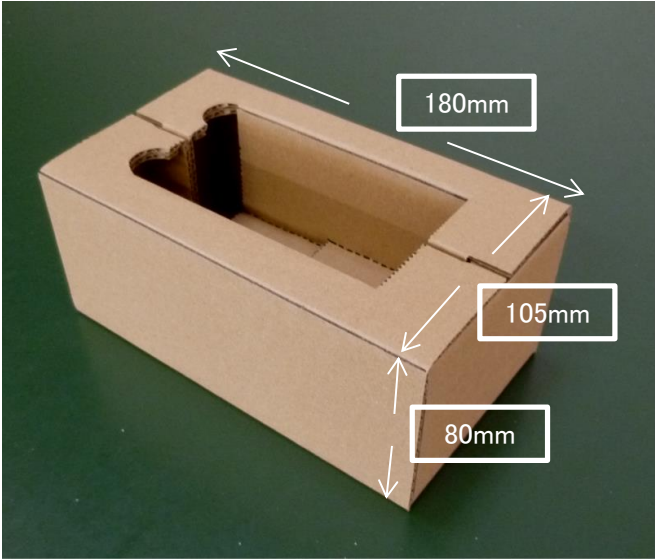
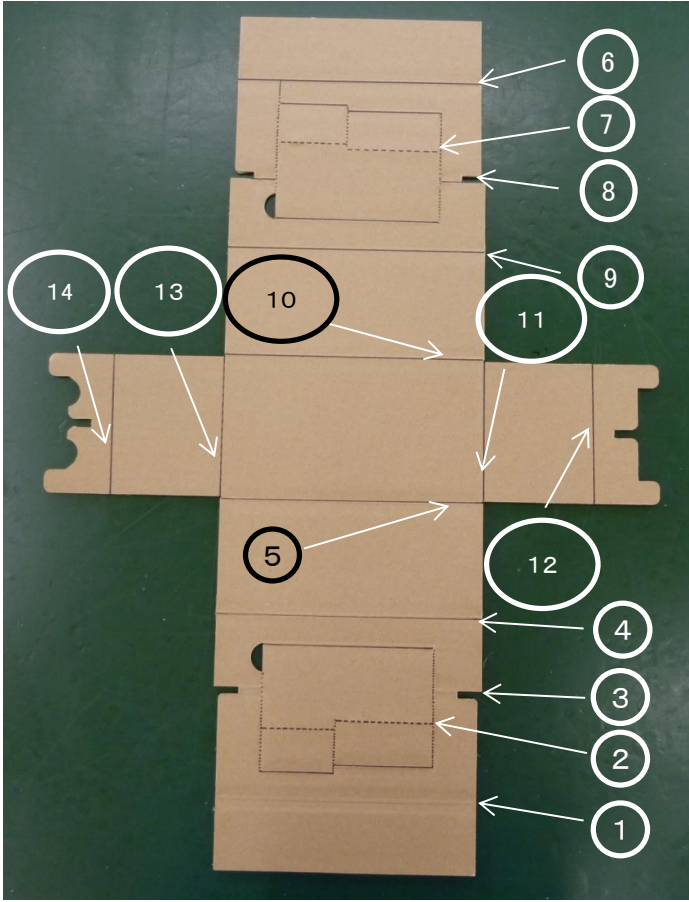




競技課題2 梱包緩衝材の組み立て  
(105mm × 180mm × 高さ80mm)

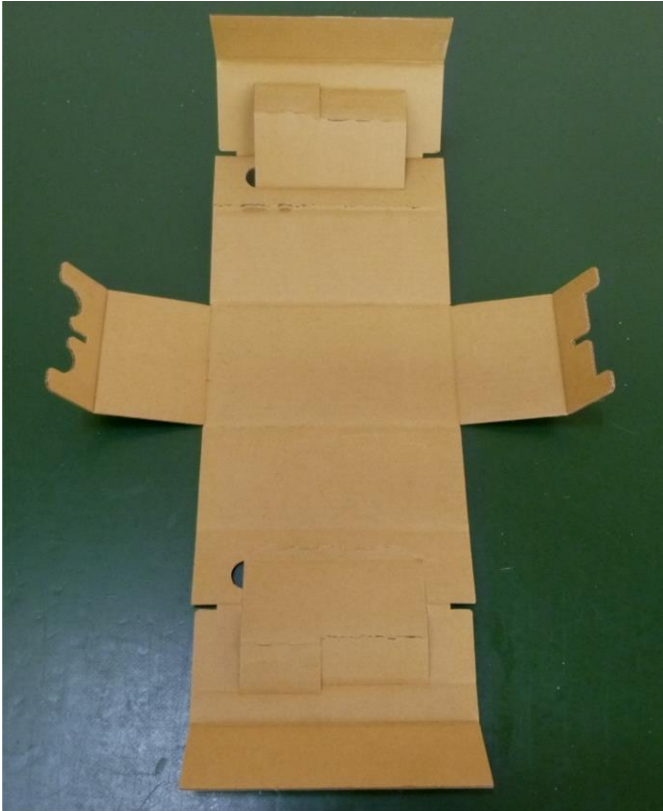
てん かい ず  
展 開 図

かん せい ず  
完 成 図



折り目を付ける

半円を2つ抜く



※ おめつ ちゆうい  
折り目を付けるときの注意

せいひん うら おもて ちゆうい  
製品の裏と表に注意する。

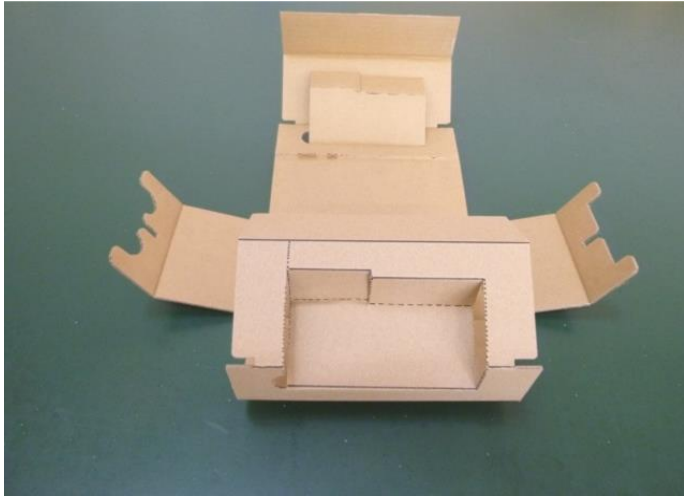
みぎ しゃしん てんかいず うら み  
右の写真は展開図を裏から見たものです。

うえ てんかいず せん たにお  
上の展開図の②と⑦の線は谷折りになります。

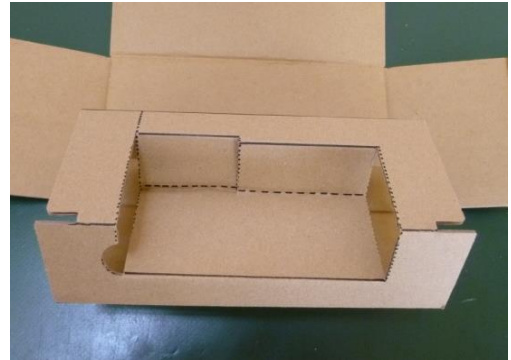
おめつ ちよくせつ たにお  
折り目を付けずに、直接おりながら組み立てる

こともできます。

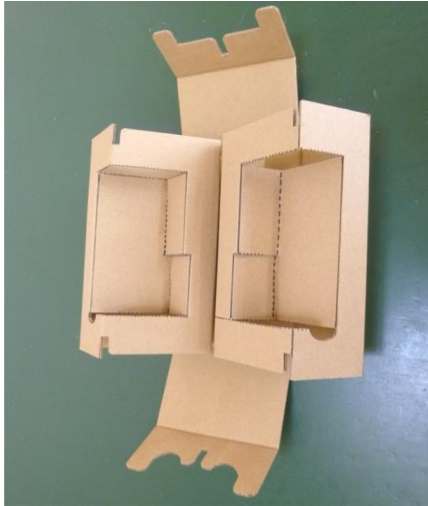
①②③④を折り曲げた状態



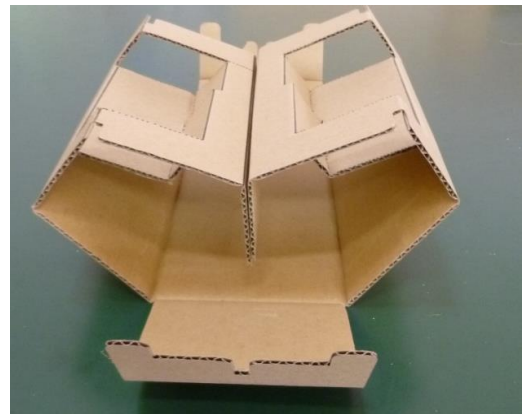
ひだり おま ぶぶん かくたい しゃしん  
左の折り曲げた部分を拡大した写真



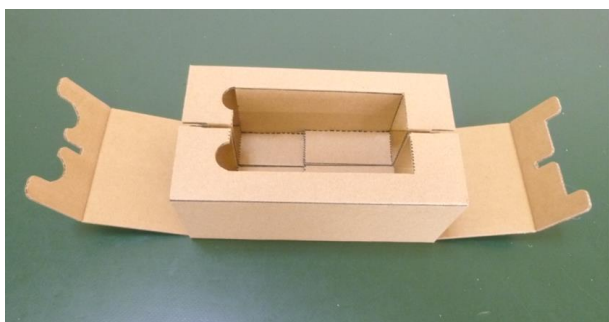
①②③④⑥⑦⑧⑨を折り曲げた状態



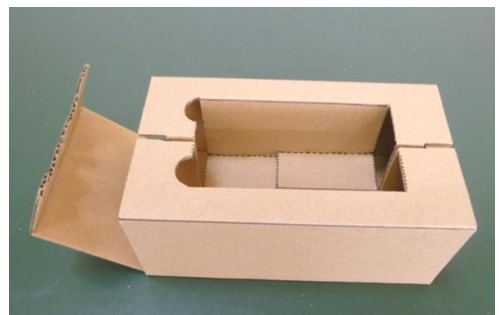
ひだり じょうたい よこ み しゃしん  
左の状態を横から見た写真



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩まで折り曲げた状態



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫まで折り曲げた状態



完成品

